



Have a nice summer!



日頃は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

暑中というより酷暑ですよ！熱中症にはくれぐれもご注意ください。いったいどれだけ灼熱なのか、名古屋の8月の各日最高気温の過去平均値を調べてみました。70年代(31.7℃)、80年代(32.0℃)、90年代(32.7℃)、00年代(33.2℃)、10年代(33.5℃)という結果から、私が子供の頃の70年代は、クーラー無しでお昼寝ができて、まだ涼しかったことがわかります。年々気温は上がり今年の平均は34℃を超えてくと予想されます。原因としては、温室効果ガスの増加による地球温暖化と、アスファルトやビルなどが熱を吸収し、気温が下がりにくくなるヒートアイランド現象が考えられています。現状のままだと気温の上昇はもっと酷くなるようで、環境省が公開している『未来の天気予報』によれば、2100年8月の日本各地の最高気温予想は、ほとんどの地域で40℃を超えているとされています。このままだと、生活だけでなく生態系や農産物への影響などに、取り返しのつかない深刻な影響が生じそうです。未来の地球・未来の子供達のため、他人事ととらえず、微力でもできることから皆で気候危機に立ち向かいましょう！

国際連合広報センターが案内されている『個人でできる10の行動』

- ① 家庭で節電する
- ② 移動は、徒歩や自転車・公共交通機関で
- ③ 野菜を食べる
- ④ 長距離移動の手段を考える
- ⑤ 廃棄食品を減らす
- ⑥ リユース、リサイクルなど
- ⑦ エネルギー源を替える
- ⑧ 電気自動車に替える
- ⑨ 環境配慮の製品を選ぶ
- ⑩ 対策の声を上げる

膨らませて作ってあるので、フワの高さの子供用の家。ビニールをぎこちない動きが可愛かった。他に評判だったのは、二階建て完成したお披露目には多くの人が集まった。大人くらいの大きさで、



子供たちは大喜び。ロボットも作っている工場で、初めて人間型が完成したお披露目には多くの人が集まった。大人くらいの大きさで、ぎこちない動きが可愛かった。他に評判だったのは、二階建ての高さの子供用の家。ビニールを膨らませて作ってあるので、フワ

工場の夏祭り
吉原 百合子
三十年ほど前、四十代の私たちが家族が住んでいた団地の隣に、車の部品工場があった。大きな音はしないが、トラックの往来が多いので、皆近づかないようにしていた。会社でも気にして、住民のために年四回、季節のお楽しみ会を開いてくれた。特に八月一週目の夏祭りには、盛大だった。「〇〇年の夏祭りロボットがきます」というチラシが入ると



「中は薄暗い迷路で、坂を上ったり、落とし穴に落ちたり、おもしろいよ！」
大きな櫓が組まれて、盆踊り大会も行われ、たくさんのテーブル席では飲食もできた。焼き鳥や焼きそばも、他より断然安い。「お兄さん、原価割れしないの？」と聞くと、「大丈夫です、会社からの援助もあるので。それに僕たちも楽しんでますよ」と、笑顔で頼もしい言葉が返ってきた。

時代の流れか、今は工場跡地に芝生が植えられ、近代的なオフィスビルが建っている。

東京の「木村治美エッセイストグループ」さまの協力を得て、掲載しております。